

将来の深宇宙探査用国内地上局確保に向けた情報提供依頼

2023年11月

JAXA 追跡ネットワーク技術センター



1. 将来の深宇宙探査用国内地上局確保に向けた情報提供依頼

将来の深宇宙探査用国内地上局確保に向けた情報提供依頼を行います。

【目的】

2030年代～2040年代を想定した深宇宙探査ミッションを支えるための国内地上局(*1)を確保するために、事業提供(地上局(*2)、利用サービス(*3))の意向があるか情報提供を依頼します。

(*1): パラボラアンテナ口径は、Φ30m級以上を想定。

(*2): 独自整備(新規整備、既存設備改修)、JAXAや他機関、他会社との新規共同整備による提供含む

(*3): 他機関や他会社との連携提供含む

【情報収集方法】

JAXA公開サイト(Microsoft Forms)を利用したアンケート方式(選択回答、記述回答)とし、情報提供くださった皆様に必要に応じてヒアリングを行わせて頂いた上で、詳細情報を収集させていただきます。

【情報収集期間】

(1) 説明会: 2023年11月30日(木) 16:00～17:00(Teams開催。参加ご希望の方は下記問い合わせ先までご連絡ください)

(2) 情報提供依頼期間: HP掲載開始～2024年1月19日(金)まで

(3) ヒアリング期間(詳細情報収集期間): 2024年1月22日(月)～2024年3月1日(金)まで

【本件に関する問い合わせ先】

JAXA 追跡ネットワーク技術センター 深宇宙地上局情報提供依頼窓口(事務局): CSTD-DSGS.RFI@jaxa.jp

2. Microsoft Formsを通じた情報提供の依頼事項(1/2)

以下の想定にて、情報提供をお願いします。一部のみの情報提供でも結構です。

【将来深宇宙探査ミッションを支えるための地上局】

以下に示す性能相当の地上局仕様、利用要求(利用時間・延べ利用時間)について。

一部または全部を満たす国内地上局の性能仕様及び利用可能な時期・時間等に関する情報。

なお、ご提供いただく国内地上局の情報は、既存設備、既存設備の能力付加による実現、新規設備の設置(計画、構想段階の検討、JAXAとの共同設置想定も含む)による仕様、のいずれも対象。

	深宇宙⇒地球への通信利用	地球⇒深宇宙への通信利用
利用周波数	以下の周波数を含む範囲を想定 S帯 : 2200MHz-2300MHz(オプション) X帯 : 8400MHz-8500MHz K帯 : 25500MHz-27000MHz(オプション) Ka帯 : 31800MHz-32300MHz(オプション)	以下の周波数を含む範囲を想定 S帯 : 2025MHz-2120MHz(オプション) X帯 : 7145MHz-7235MHz K帯 : 22500MHz-23150MHz(将来拡張も考慮) Ka帯 : 34200MHz-34700MHz(将来拡張も考慮)
特性	以下のG/T相当以上を想定 S帯 : 約38dB/K(オプション) X帯 : 約48dB/K K帯 : 約50dB/K(オプション) Ka帯 : 約50dB/K(オプション)	以下のEIRP相当以上を想定 S帯 : 約75dBW(オプション) (約95dBW以上が望ましい) X帯 : 約89dBW (約109dBW以上が望ましい) K帯 : 現時点では未定義(将来検討) Ka帯 : 現時点では未定義(将来検討)

2. Microsoft Formsを通じた情報提供の依頼事項(2/2)

【地上局の利用要求】

利用期間 : 2030年代～2040年代を最低利用期間として想定しています。
(新規整備の場合、2032年頃までに整備及び総合性能確認を完了する想定です)

延べ利用時間 : JAXAミッションのために年間7500時間程度の利用を想定しています。

— 以上 —